

鍼灸科

臨床医学各論 2

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宇南山伸			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

臨床活動をおこなう上で必要な知識である、西洋医学的知識について学ぶ。現代医学的な疾病を学ぶことによって現実の病態把握の精度を高める。疾病の原因、障害場所、症状、一般的治療方針などを学ぶ。また、鍼灸施術の適応疾患であるかの鑑別力を高めることを目的とする。

到達目標

臨床の現場で使える知識を提供し身に付けることを目的とする。現代医療において重要な観点は、疾病ごとに病名が存在し、体系的な知識の中で治療を進めて行くことが重要である。また診断名の明らかな患者に対して他の医療機関と連携をとる手段として共通認識を持てるよう疾病理解を深めていくことを目標とする。

授業方法

「疾病」に対する現代医学的な視点を教授し、人体の総合的な理解を深めていく。主に中枢神経に関わる疾患、末梢神経に関わる疾患、外科的疾患に関して学んでいく。中枢神経疾患は、血管が障害されて起こる疾患を中心変性疾患を多く扱う。末梢神経疾患では、絞扼障害や機能的な障害のように鍼灸師が日頃から多く扱う疾患に関して、学びを進めていく。

成績評価方法

期末試験で100%評価する

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書

回数	授業計画
第1回	脳と神経の病。概論
第2回	脳血栓
第3回	脳塞栓

第 4 回	脳出血
第 5 回	くも膜下出血、髄膜炎
第 6 回	ポリオ、梅毒、脳腫瘍
第 7 回	錐体外路疾患、パーキンソン病
第 8 回	ウイルソン病、脳性麻痺
第 9 回	変性疾患脊髄小脳変性症
第 10 回	認知症
第 11 回	筋萎縮性側索硬化症、ギランバレー症候群
第 12 回	抹消神経疾患
第 13 回	頭痛
第 14 回	神経疾患のまとめ
第 15 回	一般外科学